

平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社
 コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 武治
 (氏名) 影山 信博

TEL 03-3271-1711

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	1,127	9.0	△136	—	△99	—	△106	—
23年12月期第1四半期	1,034	△63.8	△155	—	△160	—	△197	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 △82百万円 (—%) 23年12月期第1四半期 △201百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	△12.17	—
23年12月期第1四半期	△22.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	11,334	3,301	29.1
23年12月期	11,541	3,383	29.3

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 3,296百万円 23年12月期 3,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,960	△24.8	△90	—	△75	—	△30	—	△3.44
通期	7,260	0.2	10	—	20	—	60	—	6.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期1Q	9,553,011 株	23年12月期	9,553,011 株
24年12月期1Q	841,174 株	23年12月期	839,617 株
24年12月期1Q	8,712,444 株	23年12月期1Q	8,761,276 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要により景気回復の兆しが見えてきたものの、海外経済の減速や円高の長期化により、経済の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、建設業界におきましては住宅建設投資において回復の動きが見られるものの、設備投資は伸び悩んでおり厳しい経済環境が続くなか、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注高確保を図っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は11億27百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業損失1億36百万円（前年同四半期は1億55百万円の営業損失）、経常損失99百万円（前年同四半期は1億60百万円の経常損失）、四半期純損失1億6百万円（前年同四半期は1億97百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①PCカーテンウォール事業

引き続き差別化商品での受注に注力しており、その比率を高めておりますが、依然として厳しい受注環境が続き、収益を確保することができませんでした。

この結果、売上高は6億15百万円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント損失は1億38百万円（前年同四半期は1億2百万円のセグメント損失）となりました。

②アクア事業

学校やスポーツ施設のプールに加え、防災訓練用の潜水プールや食塩溶解槽等、新しい分野での受注活動もすすめておりますが、利益を確保するまでには至りませんでした。

この結果、売上高は1億24百万円（前年同四半期比65.8%増）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期は19百万円のセグメント損失）となりました。

③システム収納家具事業

価額競争は厳しいものの、当第1四半期連結累計期間では、施工が集中して売上高が伸びました。

この結果、売上高は2億75百万円（前年同四半期比153.5%増）、セグメント利益は10百万円（前年同四半期は19百万円のセグメント損失）となりました。

④建設事業

組織のスリム化と内装事業・リニューアル事業での収益確保を目指しております。当第1四半期連結累計期間では、大型物件の受注・売上とも低調となりました。

この結果、売上高は1億25百万円（前年同四半期比58.8%減）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期は21百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は113億34百万円と前連結会計年度末と比較して2億6百万円の減少となりました。これは主に保険積立金が1億96百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は80億33百万円と前連結会計年度末と比較して1億24百万円の減少となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が1億65百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は33億1百万円と前連結会計年度末と比較して82百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の欠損補填による資本剰余金16億97百万円の減少と、利益剰余金が同額の増加と四半期純損失の計上により15億91百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月14日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	454,239	389,881
受取手形・完成工事未収入金等	1,403,687	1,042,219
未成工事支出金	2,114,096	2,612,357
その他のたな卸資産	97,667	74,669
その他	93,691	107,240
流動資産合計	4,163,382	4,226,367
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,006,469	989,228
土地	1,504,294	1,504,294
その他(純額)	151,605	148,577
有形固定資産合計	2,662,368	2,642,100
無形固定資産		
	110,179	108,686
投資その他の資産		
投資有価証券	221,065	166,036
投資不動産(純額)	2,590,457	2,583,858
保険積立金	1,057,072	860,555
その他	779,225	789,361
貸倒引当金	△42,437	△42,517
投資その他の資産合計	4,605,382	4,357,295
固定資産合計	7,377,931	7,108,082
資産合計	11,541,314	11,334,450
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,240,855	1,075,542
短期借入金	2,048,088	2,246,088
1年内償還予定の社債	1,231,400	1,181,100
未成工事受入金	333,264	343,990
工事損失引当金	117,580	190,356
引当金	37,469	73,388
その他	182,821	127,399
流動負債合計	5,191,478	5,237,865
固定負債		
社債	838,900	673,200
長期借入金	1,356,551	1,341,029
役員退職慰労引当金	372,167	372,167
引当金	1,585	1,645
その他	397,190	407,251
固定負債合計	2,966,393	2,795,292
負債合計	8,157,872	8,033,158

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
資本剰余金	1,697,751	—
利益剰余金	△2,681,059	△1,089,320
自己株式	△153,729	△153,854
株主資本合計	3,405,930	3,299,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,726	△3,333
その他の包括利益累計額合計	△26,726	△3,333
新株予約権	4,237	4,832
純資産合計	3,383,441	3,301,292
負債純資産合計	11,541,314	11,334,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
完成工事高	1,034,051	1,127,026
完成工事原価	977,439	1,103,244
完成工事総利益	56,611	23,782
販売費及び一般管理費	212,608	160,582
営業損失(△)	△155,996	△136,800
営業外収益		
受取利息	675	184
受取配当金	—	935
投資有価証券売却益	567	5,550
保険解約返戻金	15	36,740
投資不動産賃貸料	14,822	26,400
鉄屑売却収入	8,247	6,296
その他	13,136	16,812
営業外収益合計	37,464	92,920
営業外費用		
支払利息	18,607	19,840
社債発行費	2,409	—
投資有価証券評価損	430	958
不動産賃貸費用	11,869	19,664
その他	8,201	15,245
営業外費用合計	41,519	55,708
経常損失(△)	△160,051	△99,589
特別利益		
完成工事補償引当金戻入額	5,470	—
特別利益合計	5,470	—
特別損失		
固定資産除却損	668	44
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,842	—
災害による損失	34,170	—
特別損失合計	39,681	44
税金等調整前四半期純損失(△)	△194,263	△99,633
法人税、住民税及び事業税	2,410	2,601
法人税等調整額	754	3,777
法人税等合計	3,165	6,378
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△197,428	△106,012
四半期純損失(△)	△197,428	△106,012

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△197,428	△106,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,206	23,392
その他の包括利益合計	△4,206	23,392
四半期包括利益	△201,634	△82,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201,634	△82,619

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	547,832	74,858	108,699	302,660	1,034,051	—	1,034,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,723	1,723	△1,723	—
計	547,832	74,858	108,699	304,383	1,035,774	△1,723	1,034,051
セグメント損失(△)	△102,484	△19,392	△19,089	△21,608	△162,574	6,577	△155,996

(注)1 セグメント損失(△)の調整額6,577千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	615,794	124,094	275,550	111,587	1,127,026	—	1,127,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	13,683	13,683	△13,683	—
計	615,794	124,094	275,550	125,270	1,140,709	△13,683	1,127,026
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△138,564	△638	10,761	△7,149	△135,590	△1,210	△136,800

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,210千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社企業グループの経営資源の配分の決定及び業績評価の対象を見直した結果、前第1四半期連結累計期間において「その他」に含めていた「不動産賃貸事業」及び「環境関連ビジネス」については、当第1四半期連結累計期間より「建設事業」に含めて記載する方法に変更しております。これにより、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについては、変更後の区分に組替えて作成しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。